



ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

生き活きと 終活教室

終活カウンセラー 遠藤清子

ごんきやに入社して22年。お客様の想いをかたちにすることにこだわり仕事に従事。
大震災を経て、皆様には後悔してほしくないと思われ、終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。

vol.2
テーマ

情報の活用と発信へ、まずは一歩

新シリーズの2回目。これからの人生を生き活きと生きるためのヒントについて、今回は「みやぎシルバーネット」編集長の千葉雅俊さんとお話しました。

遠藤 シルバー向け情報紙作りに携わっておりますが、65歳以上の方の興味はどんなところにありますか。

千葉 シルバーといっても60代から90代まで世代は幅広く、趣味もそれぞれ細分化され小グループで好

きなことを楽しんでいるケースが増えています。小紙で盛り上がりつつあるのがシルバー川柳。投稿者へのアンケートによれば、意外にも半数の方がポケ防止のために川柳を詠んでいるそうです。

遠藤 目標を持って予定が立てられるというのは励みになり、前向きに生きることにもつながりますね。

千葉 それと、本音がいえるところも魅力だと思えます。年齢とともに増える「痛い、辛い」を笑いに変えて発散する。それを高齢者同

士が共感できる場所も。
遠藤 たしかに、そばに心を伝える家族がいらないというのが、多くのお年寄りの環境ですから。

千葉 お茶飲み友達もない時代。しかし最近では、かつての近所付き合いに代わるものとして、地域で

社会福祉協議会などが月1回のお茶飲み会を開くといった取り組みが行っており、その中で情報がやり取りされているようです。

葬儀に関わる情報に目を向ければ、昔はタブー視され不透明だった

のが、近年はオープンになっていきます。そうは言っても、情報は受けとらないとわからない。アンテナを張ってないと、知らないまま不利益になることもあるわけです。

遠藤 一人暮らしの方が、「葬儀について考えると不安で不安で眠れなくなると相談に来られました。情報を受け取って不安がなくなる、これからどう生きようかとプラス思考に転じたんです。知らないことの不利益を解消した良い例で、当社の終活セミナーの基本もここにあります。

千葉 大切なことなのに知られていないことは多いです。例えば仙台市は在宅医療が進んでいて、家で家族に看取られて亡くなる割合も政令



高齢者向け情報紙「みやぎシルバーネット」(毎月1回・無料配布)の編集長、千葉雅俊さんと

都市の中でトップクラス。そうしたことを知っていれば、病气や看取りに関しても少し安心できますよね。
遠藤 情報は受け取るばかりでなく発信できるものもあります。あるお年寄りが針仕事を地域で教えたなら、若い人にも喜ばれたという例もありました。

千葉 そうですね、年を重ねた人は知恵袋。自ら発信するために歩み出してほしいですね。

遠藤 当社も人から人につながる情報交換の場を、どんどん提供していきたいと思えます。



1815年創業
御祭・仏壇・仏具・神具・生花・花壇・墓石
塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町24-2
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

0120-365-554

終活セミナー

日時：2月22日(水)午前10時より
場所：セレモニア塩釜楠会館
塩釜市南町7-32

手作り教室

終活プラザデュエでは
季節ごとに手作り教室を開催中!

セミナー、手作り教室に関するお問い合わせ

(株)ごんきや西塩釜サテライト TEL.022-365-5556(遠藤)

※当社では出張して終活セミナーを行います。町内会やサークル、ご友人などお一人からでもお受けいたしますのでお気軽にお問い合わせ下さい。